

5. 執筆者紹介

胡 戟 (Hu Ji) 元陝西師範大學歷史文化學院教授

北京大學大學院歷史學本科・研究生 (1959-1967)

【著書・論文】『武則天本伝』(三秦出版社、1986年、(修訂本)陝西師範大學出版社、1998年、北京大學出版社、2011年)、『敦煌史話』(共著、中華書局、1995年、2004年)、『隋煬帝新伝』(上海人民出版社、1995年、北京大學出版社、2011年)、『中華文化通志・禮儀志』(上海人民出版社、1998年)、『胡戟文存—隋唐歷史卷』(中國社會科學出版社、2000年)、『二十世紀唐研究』(主編、中國社會科學出版社、2002年)、『中國政治通史・4・分裂與對峙的魏晉南北朝政治』(泰山出版社、2003年)、『胡戟文存・2・隋唐歷史與敦煌卷』(中國社會科學出版社、2004年)、『史學名篇』(主編、陝西師範大學出版社、2005年)、『大唐西市博物館藏墓誌』(北京大學出版社、2012年)、『唐代政治文明』(主編、西安出版社、2013年)、『珍稀墓誌百品』(陝西師範大學出版相談社、2016年)

扈 根興 (Bai Genxing) 陝西師範大學人文社科基礎教學部教授

陝西師範大學大學院歷史學修士・韓國國立慶北大學校文學博士

【著書・論文】『唐憲宗』(共著、三秦出版社、1992年)、『七世紀中葉唐與新羅關係研究』(中國社會科學出版社、2003年)、『永泰公主與永泰公主墓』(共著、三秦出版社、2004年)、『唐朝與新羅關係史論』(中國社會科學出版社、2009年)、『唐代高麗百濟移民研究：以西安洛陽出土墓誌為中心』(中國社會科學出版社、2012年)、『石刻墓誌與唐代東亞交流研究』(科學出版社、2015年)、『唐代朝野政治與文化研究』(中國社會科學出版社、2016年)

榮 新江 (Rong Xinjiang) 北京大學歷史學部教授

北京大學歷史學部修士課程修了

【著書・論文】『歸義軍史研究——唐宋時代敦煌歷史考索』(上海古籍出版社、1996年)、『辨偽與存真—敦煌學論集』(上海古籍出版社、2010年)、『中古中國與外來文明』(北京三聯書店、2001年)、『敦煌學新論』(蘭州甘肅教育出版社、2002年)、『中國中古史研究十論』(復旦大學出版社、2005年)、『于闐史叢考』(增訂本、張宏達氏與共著、中國人民大學出版社、2008年)、『隋唐長安：性別、記憶及其他』(香港三聯書店、2009年)、『中古中國與粟特文明』(北京三聯書店、2014年)、『絲綢之路與東西文化交流』(北京大學出版社、2014年)

河内 春人（こうち はるひと） 明治大学・中央大学・立教大学非常勤講師

明治大学大学院文学研究科博士後期課程大学・博士（史学）

【著書・論文】『東アジア交流史の中の遣唐使』（汲古書院、2013年）、『日本古代君主号の研究—倭国王・天子・天皇—』（八木書店、2015年）、「唐代東アジアにおける外交文書と学術」（『唐代史研究』第18号、2015年）、「年号制の成立と古代天皇制」（『駿台史学』第156号、2016年）、『日朝関係史』第1章（吉川弘文館、2017年）

【訳書】 シャルロット・フォン・ヴェアシュア『モノが語る日本対外交易史』（藤原書店、2011年）

武廣 亮平（たけひろ りょうへい） 日本大学教授

日本大学大学院文学研究科博士前期課程修了

【著書・論文】『出雲世界と古代の山陰』（名著出版、1995年）、『武蔵村山市史』通史編上巻（武蔵村山市史編さん委員会、2002年）、『九世紀の蝦夷社会』（高志書院、2007年）、『古代蝦夷からアイヌへ』（吉川弘文館、2007年）いずれも共著

田上 勇一郎（たがみ ゆういちろう） 福岡市経済観光文化局文化財部埋蔵文化財課

東京学芸大学大学院修士課程修了

【著書・論文】「発掘調査からみた中世都市博多」（『市史研究ふくおか』創刊号、福岡市博物館市史編さん室、2006年）、『中世都市・博多を掘る』（海鳥社、2008年、共編）、「博多遺跡群出土の大量一括埋納陶磁器」（『貿易陶磁研究』NO.31、日本貿易陶磁研究会、2011年）「福岡市域の中世集落と居館」（『新修福岡市史特別編自然と遺跡からみた福岡の歴史』、福岡市、2013年）

柳原 敏昭（やなぎはら としあき） 東北大学教授

東北大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学 博士（文学）

【著書・論文】『中世日本の周縁と東アジア』（吉川弘文館、2011年）、共編著『講座東北の歴史3 境界と自他の認識』（清文堂、2013年）、編著『東北の中世史1 平泉の光芒』（吉川弘文館、2016年）

坂江 渉（さかえ わたる）

兵庫県立歴史博物館ひょうご歴史研究室 研究コーディネーター

神戸大学大学院文化学研究科単位取得満期退学 博士（文学）

【著書・論文】 編著『風土記からみる古代の播磨』（神戸新聞総合出版センター、2007年）、『日本古代国家の農民規範と地域社会』（思文閣出版、2016年）

独孤 婁觉 (Dugu Chanjue) 横浜国立大学非常勤講師

横浜国立大学大学院環境情報学府博士課程修了・中国六朝文学専攻・学術博士取得

【著書・論文】『唐代試律詩』(共著、黄山書社、2006年)、『『詩品』は沈約の詩を中品に位置づける原因に関する一考察』(『江漢論壇』第123号、2005年)、「再論「江郎才尽」—江淹の価値観をめぐって」(『横浜国立大学技術マネジメント研究』第11号、2012年)、「王融の政治クーデターの背後原因に関する一考察」(『横浜国大言語研究』第30号、2012年)、「曹丕論—曹丕の『憂い』をめぐって」(『中国哲学研究』第26号、2012年)

田 衛衛 (Tian Weiwei) 東京大学大学院人文社会系研究科博士課程

北京大学大学院歴史学系修士課程修了

【著書・論文】「『秦婦吟』敦煌写本新探—文本概観与分析—」(『敦煌研究』、2015年5期)、「唐長安開元寺考」(『唐研究』第21巻、2015年)、「ロシア蔵敦煌文献10740に見える『重修開元寺行廊功德碑』習字断片について」(荒川正晴・柴田幹夫編『シルクロードと近代日本の邂逅—西域古代資料と日本近代仏教—』勉誠出版社、2016年)

土屋 昌明 (つちや まさあき) 専修大学経済学部教授

國學院大學大学院文学研究科博士課程満期修了

【著書・論文】『神仙幻想』(春秋社、2003年)、「開元期の長安道教の諸問題—金仙・玉真公主をめぐって」(王維坤・宇野隆夫編『古代東アジア交流の総合的研究』国際日本文化研究センター共同研究報告、2008年)、「道教の新羅東傳と長安の道觀—「皇甫奉諫墓誌」を中心に—」(『東方宗教』122、2013年)、「玄宗による創業神話の反復と道教の新羅への伝播」(『古代東ユーラシア研究センター年報』第1号、2015年)、『道教の聖地と地方神』(共編、東方書店、2016年)

多田 麻希子 (ただ まきこ) 古代東ユーラシア研究センター ポスト・ドクター

専修大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学

【著書・論文】秦漢時代の簡牘にみえる家族関連簿集成稿(その二)(『専修史学』56号、2014年)、「家罪」および「公室告」「非公室告」に関する一考察—秦漢時代における「家族」の居住形態—(『張家山漢簡『二年律令』の研究』、東洋文庫、2014年)、「中国古代家族史研究の現状と新たな課題」(『歴史評論』785号、校倉書房、2015年)、「『嶽麓書院秦簡(参)』訳注(1)~(2)」(共著、『専修史学』59・61号、2015年~2016年)

山田 兼一郎（やまだ けんいちろう） 古代東ユーラシア研究センター リサーチ・アシスタント
専修大学大学院文学研究科博士後期課程在学中

【著書・論文】「9世紀の古代王権と禁苑－神泉苑の変遷と史的意義－」（『専修史学』58号、2015年）、「『松林倉廩』『松原倉』の再検討－平城京の禁苑とクラについての覚書－」（『専修史学』59号、2015年）、「渋谷向山古墳（景行天皇陵）立入り観察 参加記」（『歴史学研究月報』第680号、2016年）

奈良 竜一（なら りゅういち） 古代東ユーラシア研究センター リサーチ・アシスタント
専修大学大学院文学研究科博士後期課程在学中

【著書・論文】「『嶽麓書院秦簡（参）』訳注（1）～（2）」（共著、『専修史学』59・61号、2015年～2016年）、「『日書』の性格と郷里社会」（『専修史学』61号、2016年）

鈴木 広樹（すずき こうき） 古代東ユーラシア研究センター リサーチ・アシスタント
専修大学大学院文学研究科博士後期課程在学中

【著書・論文】「中期古墳における須恵器埋納の意義について～朝鮮半島南部との比較を通して～」（『専修史学』60号、2016年）、翻訳「古代ユーラシアの馬文化－モンゴル・中国・韓国を中心に－」（『古代東ユーラシア研究センター年報』第2号、2016年）

高久 健二（たかく けんじ） 専修大学文学部教授
韓国・東亜大学校大学院史学科博士課程修了

【著書・論文】『楽浪古墳文化研究』（学研文化社、1995年）、「楽浪郡と三韓」（西谷正編『韓半島考古学論叢』すずさわ書店、2002年）、「韓国の倭系遺物」（『国立歴史民俗博物館研究報告』110、2004年）、「楽浪・帯方郡埴室墓の再検討」（『国立歴史民俗博物館研究報告』151、2009年）、「楽浪郡と三韓の交易システムの形成」（『東アジア世界史研究センター年報』第6号、2012年）、「楽浪郡と三韓・倭の交流関係」（『弥生時代政治社会構造論－柳田康雄古稀記念論文集』雄山閣、2013年）、「新たに報告された楽浪室墓に関する考察」（高倉洋彰編『東アジア古文化論攷＝Studies in East Asian archaeology and history part 1』中国書店、2014年）、「平成26年度韓国・三国時代百済関係資料調査報告」（『古代東ユーラシア研究センター年報』第1号、2015年）

飯尾 秀幸 (いとお ひでゆき) 専修大学文学部教授

東京大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学

【著書・論文】『中国古代社会史論』（共訳、名著刊行会、1997年）、『中国史のなかの家族』（山川出版社、2008年）「中国古代の法と社会」（『岩波講座 世界歴史』第5巻、岩波書店、1998年）、「中国古代における個と共同性の展開」（『歴史学研究』729号、1999年）、「中国国家史研究は進んだか」（『歴史学研究』782号、2003年）、「中国古代における人の移動とその規制に関する基礎的研究」（『専修大学人文科学年報』37号、2007年）、「雲夢睡虎地・荊州張家山調査報告記」「中国古代土地所有問題に寄せて」（東洋文庫中国古代地域史研究編『張家山漢簡『二年律令』の研究』東洋文庫、2014年）、「睡虎地（湖北省）」（『地下からの贈り物新出土資料が語るいにしへの中国』、東方書店、2014年）、「古代史研究における東ユーラシア地域論をめぐる試案」（『古代東ユーラシア研究センター年報』第2号、2016年）